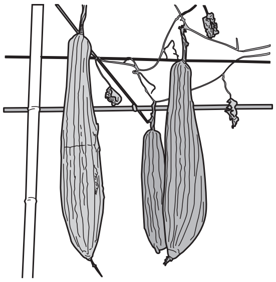
# 第22講 ● 冬のころ　植物のようす

## 1　植物の冬のようす ➡❶

⑴　**ヘチマ**　冬になって寒くなると，葉，くき，根はすべてかれてしまう。しかし，秋にできたたねは生きていて，そのたねで冬をこす。

春になるとたねから芽が出て，成長を始める。

❶ヘチマ

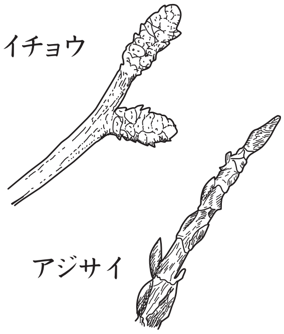


⑵　**サクラ**　えだは，秋のころからまったくのびず，色が変わってかたくなっている。葉もすっかり落ちているが，えだには芽がたくさんついている。これらの芽を冬芽（ふゆめ）といい，サクラは冬芽で冬をこす。➡❷

❷サクラ

サクラの冬芽には，ふっくらした大きな芽と，細長い芽の２種類の芽があり，春になると，大きな芽からは花がいくつかさき，細長い芽からは葉が出てくる。冬芽で冬をこす植物は，ほかにイチョウやアジサイ，カエデなどがある。➡❸

❸イチョウ・アジサイ

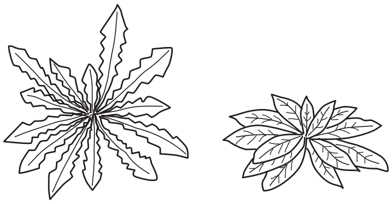



©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　**タンポポ，ヒメジョオン**　葉を地面に広げて冬をこす。このようなすがたをロゼット（葉）といい，北風から身を守り，地面から熱がにげるのをふせぐことができる。

また，日光をうけやすい。➡❹

❹タンポポ・ヒメジョオン



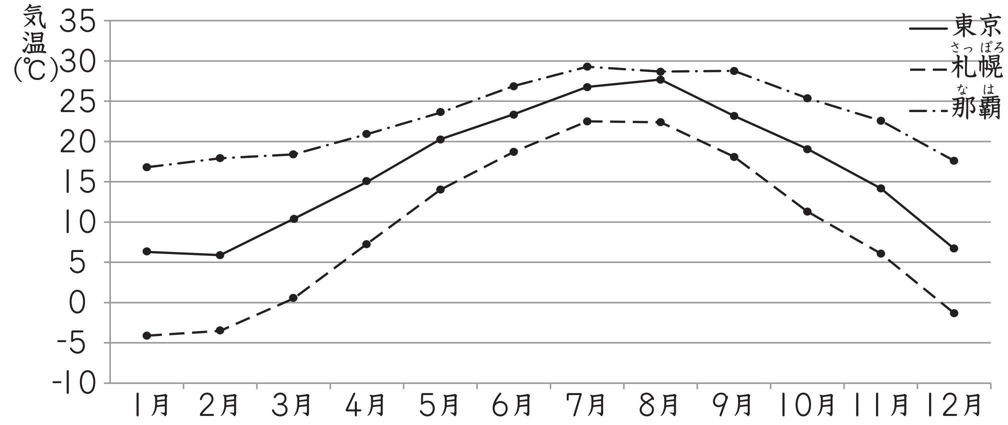

アブラナやナズナなどもロゼットで冬をこす。

(4)　**ススキ，キク**　地上に出ているくきや葉はかれているが，地下ではくきや根が生きていて，根もとから新しい芽が出ている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

## 2　植物の１年間 ➜❶

夏の暑いころはさかんに成長するが，冬になって寒くなると，ほとんど成長しなくなる。その後，春になってあたたかくなると，ふたたび成長を始める。植物のこのような変化は，１年間の気温の変化と関係が深い。




気象庁より

### 観察（かんさつ）　冬でも緑色の葉をつけている木

**(1)　冬に花がさく木**

サザンカ，ツバキ，ビワ，ヤツデなどは，冬に花がさく。これらの木は，冬でも緑色の葉をつけている。

**(2)　冬に緑色の葉をつけている木**

マツ，ヒノキ，スギなどは，冬でも葉を落とさずに緑色の葉をつけている。これらの木は，「常緑じゅ」とよばれ，ふつう２～３年で古い葉が落ち，新しい葉と入れかわっていく。

**(3)　落葉じゅ**　常緑じゅに対し，サクラやイチョウのように，秋になると葉が赤色や黄色などに変わり，葉が落ちてしまうものを「落葉じゅ」という。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第22講・確認テスト

問１　ヘチマは，冬の間はどのようになっていますか。

①　緑色の葉をつけている。　②　地面をはうように葉を広げている。

③　たねになっている。　④　冬芽のじょうたいになっている。

問２　タンポポは，冬の間はどのようになっていますか。

①　緑色の葉をつけている。　②　地面をはうように葉を広げている。

③　たねになっている。　④　冬芽のじょうたいになっている。

問３　サクラは，冬の間はどのようになっていますか。

①　緑色の葉をつけている。　②　地面をはうように葉を広げている。

③　たねになっている。　④　冬芽のじょうたいになっている。

問４　サザンカは，冬の間はどのようになっていますか。

①　緑色の葉をつけている。

②　地面をはうように葉を広げている。

③　たねになっている。

④　葉になる芽のじょうたいになっている。

問５　ススキは，冬の間はどのようになっていますか。

①　緑色の葉をつけている。

②　地面をはうように葉を広げている。

③　たねになっている。

④　地上のくきや葉はかれているが，根もとから新しい芽が出ている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第22講・確認テスト

問１　③

問２　②

問３　④

問４　①

問５　④

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。